

ミツバベンケイソウ *Hylotelephium verticillatum* (L.) H.Ohba

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 11。愛知県では個体数の少ない多肉植物である。

【形態】

多年生草本。茎は直立し、高さ 20～80cm になる。葉はふつう 3 輪生、小形の株では対生することもあり、長さ 2～10mm の柄があり、葉身は楕円形～広披針形で長さ 3～10cm、幅 1.5～3cm、先端は鋭頭、辺縁にはまばらな鋸歯があり、乾けば細脈が透けて見え、褐色の小点がある。花期は 8～9 月、茎の先端に大型の複散房状花序をつけ、密に黄緑白色の花をつける。花弁は 5 枚で広披針形、長さ約 4mm、裂開直前の葯は淡黄色、まれに暗褐色である。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (加藤等次 2881, 1993-5-11)、3 東栄 (芹沢 87390, 2011-9-24)、6 設楽東部 (小林 60412, 1996-10-26)、15 豊橋北部 (小林 54757, 1994-10-21)。尾：44b 南知多 (小林 55431, 1994-12-10)。鳳来 (区画不明、小林 2000) にもあるという。

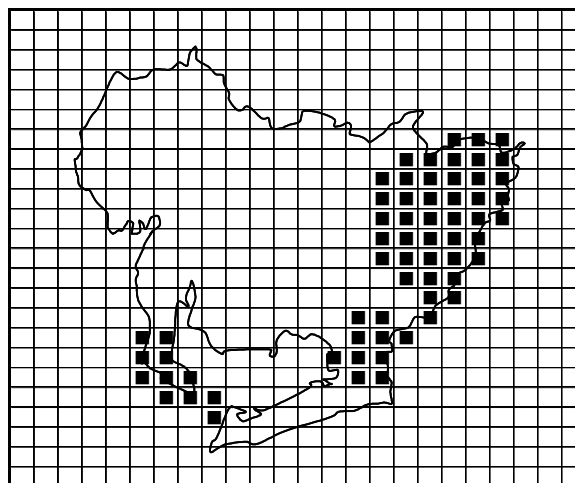
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

カムチャッカ、千島列島、日本、朝鮮半島、中国大陸、シベリア北部など。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

半日陰の岩場に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

東三河では、個体数は少ないが、点在している。東三河以外では南知多に見られるだけである。南知多ではごく少数の個体が生育しているだけで、生育状態もよくない。

【保全上の留意点】

県全体では準絶滅危惧であるが、南知多の自生地は特に保全の必要性が高い。

【特記事項】

ベンケイソウ類の 1 種であるが、鑑賞価値は比較的少ない。

【引用文献】

小林元男. 2000. 新城地方の植物 p.98. 愛知県, 名古屋.

【関連文献】

保草本Ⅱ p.162, 平草本Ⅱ p.150, 平新版 2 p.216.